

第9回相模原市行財政構造改革本部会議 会議録

日時 令和2年3月27日(金)午後2時30分～

会場 第3委員会室

出席者 市長、下仲副市長、隠田副市長、森副市長、教育長、総務局長、企画財政局長、企画財政局理事、危機管理局长、市民局長、健康福祉局長、こども・若者未来局長、環境経済局長、都市建設局長、緑区長、中央区長、南区長、議会局長、教育局長、消防局長

開会のあいさつ

1 今後のスケジュールについて

事務局より、議題について資料に基づき、本改革プランの策定期間の延長の理由等を説明。

延長について了承された。

2 公共施設等の見直しについて

事務局より資料に基づき説明。

- ・ アイススケート場については、存続意見と廃止意見が出されている状況であり、この場でご議論いただきたい。
- ・ パスポートセンターについては、前回の本部会議における議論を踏まえ、相模大野に集約するものと整理した。
- ・ 公民館については、まちづくりセンターとの合築となっていることが多いことから、その在り方も見据えて検討していくことを想定している。
- ・ これらの内容を長期財政収支に反映させたところ、計画期間の後半で多額の一般財源を必要とする結果となり、更なる検討が必要であると考えている。

<主な質疑等>

(アイススケート場について)

市にとって必要不可欠な施設とは言えないと認識している。効率性、有効性の観点から言えば、他の施設より優先順位は低くなるものと考えている。また、普遍性の観点による判断に当たっては、無作為抽出による市民へのアンケートを行うことも検討していきたいと考えている。

- トップアスリートを育成してきた実績や、シビックプライドの観点も踏まえた上で、そうした全体のバランスの中で判断して頂きたい。

市の施設については、市民の健康維持等に寄与するという点も重要であると考えて

いる。アイススケート場を無くして教室などの活動を止めてしまうのはいかなものか。

また、同施設は収益性も高められるものと考えており、施設の運営費は利用料により賄えるものと見込んでおり、本施設については、存続させていただきたいと考えている。運営費は賄えても、整備に要する費用や建設債の償還に要する費用までは賄えない。長期財政収支上の財源不足については、新規・拡充は除いた上でこれだけの金額となっている。優先順位の高い事業を選択していく必要がある。

(パスポートセンターについて)

緑区、中央区在住の方の多くが橋本を利用していることや、旧津久井地域の方が相模大野まで行く不便さを考えると、相模大野に集約するのはいかなものか。

パスポートセンターの利用者の多くにとって、利用頻度は5年または10年に1回であり、市民生活上、影響が出るとは思えない。

○ 頻度だけの問題ではないのではないか。

市民局及び各区において、改めて議論することとする。

3 その他

次年度の体制について、市税収入の確保策の議論を深める観点から、税務部長等を幹事会構成員に加えることについて説明し、了承を得た。

以 上